



ルーテル学院だより

NO.144
2020.9.1

http://www.luther.ac.jp/
発行 ルーテル学院大学・日本ルーテル神学校
〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-20
TEL: 0422-31-4611 FAX: 0422-33-6405
発行人 石原 基夫

授業探訪 「社会福祉の基礎」



浅野 貴博 専任講師

（専門分野）

ソーシャルワーク

（主要担当科目）

ソーシャルワーク論、ソーシャルワーク演習、ソーシャルワーク実習
＆実習指導、社会福祉の基礎

今回は、「社会福祉の基礎」についてご紹介します。

授業では何を学ぶことができますか？

▲主に2年次に履修する「社会福祉の基礎」では、主に1年次に履修する「社会福祉入門」(担当：高山由美子教授)とあわせて、わが国の社会福祉制度の根幹である社会福祉関係法(社会福祉法・生活保護法・児童福祉法・障害者総合支援法・身体障害者福祉法・知的障害者福祉法・精神保健福祉法・老人福祉法・介護保険法)に関する基礎的な知識を学んでいます。

幅広い分野について学ぶんですね。

▲2年次以降に社会福祉の各分野に関する専門科目(児童福祉論・障害者福祉論・高齢者福祉論・公的扶助論等)を履修するのですが、それらの科目を履修する上で、文字通り「基礎」となることを学びます。授業では社会福祉関係各法の概要だけではなく、それぞれの歴史的沿革についても学びます。現在の法制度を理解する上で、

その時代時代の社会的要請に応じてどのような変遷を辿ってきたのか、つまり、歴史という「縦軸」を通して見ていくことは不可欠です。また同時に、その時代の世界の諸国の動きはどうだったのかという「横軸」を通して見ていくことも大事なことです。縦軸と横軸という2つの軸をあわせて見ていくことで、日本の法制度等の課題も明らかになります。例えば、1950年代に北欧で生まれた「ノーマライゼーション」は、障がいのある人を「ノーマル」にするのではなく、彼らにノーマルな生活条件を整えていくという思想ですが、1970年代に北欧諸国の政策を変えただけでなく、その思想は日本を含む世界の諸国に大きな影響を与えました。「障がい」とは何か、「ノーマル」とは何か、そして「障がい」があってもその人らしい生活を生きるにはといったノーマライゼーションが投げかけた問いは、日本社会に生きている我々に対して、今もなお多くのことを問いかけています。担当教員としては、本授業を通して法制度の背景にあるそうした様々なことを学び、学生が自身の問題関心をさらに広げ、そして深めるきっかけになることを目指しています。

受講するのは福祉コースに所属する学生が多いのですか？

▲そうですね。例年50名ほどが受講しますが、そのうち9割は福祉相談援助コースおよび地域福祉開発コース、子ども支援コースの学生が占めています。福祉に関心を持つ(と思われる)臨床心理コースやキリスト教人間学コースの学生も履修しています。

学生からは、この授業は「厳しい、授業の二つである」という話を聞きました。が、本当でしょうか？

▲この授業を「厳しい」と感じるかどうかはそれぞれの学生の主観です。で、YesともNoともお答えするのが難しいところですが、多くの学生が厳しいと感じる大きな理由として、この授業と「社会福祉入門」が、3年次または4年次に「ソーシャルワーク実習」を履修できるかどうかの関門の一つになっていることが挙げられると思います。国家資格である社会福祉士の受験資格を取得するためには、「ソーシャルワーク実習」を含む必修科目の履修が必須なのですが、本学では希望者の全てが実習を履修できるわけではなく、この授業を含むいくつかの科目に關して一定の成績で単位取得することを実習を履修する条件にしています。とりわけ、この授業と「社会福祉入門」は、社会福祉関係法に関する基礎的な知識を身につけることが求められるため、学生にとっては易しい授業ではないでしょう。ゆくゆく国家試験を受験する際には必要な知識となりますので、担当教員としては、ぜひ頑張ってください。



オンライン授業について

「限界と可能性」

教授 加藤 純

5月から遠隔授業が続いています。

ルーテル学院大学では、ディスカッションやロールプレイなど参加型の体験的な教育を大切にしています。遠隔授業では無理だと思っていました。実際にやってみると、ロールプレイもディスカッションもできました。

実習の準備教育では、画面の中で学生が子ども役や実習生役になりロールプレイをしました。子ども役が熱演してくれて、実習生がさらに子どもとのやりとりを体験できました。その様子を実習記録に書く練習もしました。小さな画面越しなのに、実習生役は子どもの表情や口調など細かく観察して記録に書いていました。

人数の多い科目では、映像配信やライブ講義、オンライン課題などを使っています。映像資料は一度聞いて分からなかったところを繰り返し聞けるので理解が深まると学生から聞きました。ライブ講義は教員からの説明が中心ですが、オンラインの課題を組み合わせて、資料を調べて答えを記入してもらったり、授業の感想を記してもらったりしています。教室での授業以上に詳しい感想を記してくれる学生が多いです。

「子ども支援キャリアデザイン」の授業では、上級生や卒業生にボランティアやアルバイト、就職について話してもらい、チャット機能を使って活発な質疑応答ができました。遠隔でもかなり充実した授業ができる手応えを感じています。とは言え、教室の外で得られる交流までは補えていませんので、早く教室での授業が再開し、皆さんとお話できることを楽しみにしています。

ではないかと思われま。対面授業だった頃を思うとやはり不自由さはありません。しかし、個人的には今は限られた手段でどれだけ自身の力を発揮できるかを試されている時期だと捉えているので、後期もできることを着実にやってみようと思います。

オンライン授業を受講して

子ども支援コース2年

松永歩乃佳

オンライン授業は、普段の比ではない目・肩の疲労や、次々と送られる課題、Zoomの使用に誤作動はないだろうかという不安と緊張感など、神経がすり減ったり健康状態の維持が困難になったりするというデメリットがあります。

デメリットだらけだと思った時期もありましたが、慣れていくにつれて感染のリスクもなく好きなペースで取り組めるというメリットを活かすことも重要だと感じるようになりました。

疲れたのは私を含めた学生だけではなく、こうした経験のない中で講義資料を作成しながら提出課題の確認に追われる先生方や今までと異なる対応を強いられる事務職員の方々も同じなの



臨床心理コース3年

吉村 日花

遠隔授業が始まり、気づけば期末試験やレポートの時期を迎えようとしています。

ここまでを現在形で過ごし、友人が隣にいないことに変化を感じました。これまでは、授業でつまづいた箇所はその場で共有して解決できていたのですが、それが難しくなってしまう。そして、授業への姿勢も友人からの影響があったため、遠隔授業ではモチベーションを保つことが課題であると感じられました。

一方で、取り組みやすさを感じた点は、自分のペースで授業を受けられることです。動画配信がされる授業では、メモを取る速さをあまり気にする必要がありません。さらに、授業後のフィードバックも焦ることなく、内容を振り返りながら取り組むことができました。自宅でも授業を継続できたことに感謝しています。

入試合格体験記

総合型選抜授業体験型（旧AO入試）で合格した先輩の体験談です。
総合型選抜には、「授業体験型」の他に「活動アピール型」「キリスト教会推薦型」があります。

学ぶ意欲をアピール 念願の福祉の道へ

子ども支援コース2年 金子 晴香

私がルーテル学院大学を志望した理由は、少人数で教員と学生一人ひとりの距離が近いという点に魅力を感じたからです。高校生の頃、福祉に興味を持ち、それからインターネットで福祉について学べる大学を調べたり高校の先生に相談をしていくなかで、ルーテルに出会いました。何度か参加したオープンキャンパスでは、アットホームな雰囲気であたたかみを感じました。この環境で福祉を学びたいという熱意を実際に言葉で伝えるために、私はAO入試を選択しました。

充実したカリキュラムで 憧れたカウンセラーに

臨床心理コース2年 山本 怜奈

高校1年生の時にカウンセラーになりたいと思ったきっかけは、幼い頃自分の気持ちのすねかきで悩んでいた私を、両親がルーテル学院大学に連れていってくれたからです。そこで時間をかけてゆっくりと私の言葉を聴いてくださるカウンセラーさんに引き合わせてくれ、初めて自分自身と向き合えた気がしました。そして、そのきっかけをくれたカウンセラーという職業に興味を抱き、ルーテル学院大学で学びたいと強く考えるようになりました。

AO入試の内容には、面接試験と課題の提出があります。面接では志望動機や将来の展望はもちろん最近気になっているニュースやこれまでの人生で影響を受けたことなど想定されるいくつかの質問に対してわかりやすく相手に伝える訓練を高校の先生にいただいたきました。課題には体験講座に参加した時の感想と高校生活で力を入れていた生徒会活動について書きました。これも高校の先生に何度も添削をしていただき納得のいくものに仕上げることができました。AO入試は学力だけでなく自分の頑張りが学ぶ意欲をアピールすることができ、是非、少しでも関心のあることに詳しくなる努力をしました。

AO入試の内容は課題と面接で、特に面接は自己啓発に良い機会だと考え選択しました。また課題については高校生のための体験講座に参加して学んだことを記述し、高校在学当時の先生方に添削していただきました。体験講座では4つあるコースの中から1つを選択し、同じ進路を目指す仲間とともに大学の講義を体験することができました。私の高校は普通科だったので、体験講座で初めて同じ専門職を目指す同年代と関わり嬉しかった記憶があります。

大学生となり1年が経ちました。先生と生徒の距離が近いたり部活動やアルバイトなどに積極的に取り組んだりしてきています。私は将来、子どもと家族を支援する職業に就きたいと考えています。私が所属している子ども支援コースでは、心のケアから生活環境の改善、国際協力まで子どもや家族を支援する方法を幅広く学ぶことができます。また、ルーテルでは様々な国家資格の取得を目指すこともできます。大変なことも多くありますが先生方のサポートにより頑張ることができています。ルーテルに少しでも興味のある方は是非オープンキャンパスや体験講座に参加して、実際にルーテルの雰囲気を感じてみてください。

実際に大学の雰囲気を知るためにオープンキャンパスに足を運んで頂き、ルーテル学院大学に興味をもってもらえたら嬉しいです。

入試日程

選抜方式	区分	出願期間	試験日	合格発表
総合型選抜 （授業体験型、活動アピール型、キリスト教会推薦型） 「大学で〇〇を学びたい」「将来は〇〇になりたい」など、自身の想いや熱意を評価します。	I期	10/1(木)～10/16(金)	10/24(土)	11/2(月)
	II期	11/2(月)～11/13(金)	11/21(土)	12/1(火)
	III期	12/1(火)～12/11(金)	12/19(土)	12/23(木)
	IV期	2021/2/8(月)～2/17(木)	2021/2/24(木)	2021/2/26(金)
	V期	2021/2/22(月)～3/8(月)	2021/3/13(土)	2021/3/13(土)
学校推薦型選抜 （ミッションスクール推薦型、指導者推薦型、指定校推薦型） 推薦者を通して、勉学、生徒会、部活動など、高校で力を入れて頑張ってきた活動を評価します。	—	11/2(月)～11/13(金)	11/21(土)	12/1(火)
一般選抜 （スカラシップ型、一般試験型、大学入学共通テスト利用型） 教科試験を重視し、面接や調査書をもとに総合的に評価します。	スカラシップ型	2021/1/6(木)～1/20(木)	2021/1/28(木)	2021/2/3(木)
	一般試験型	A日程	2021/2/3(木)	2021/2/12(金)
		B日程	2021/2/5(金)	
	大学入学共通テスト利用型	I期	2021/1/6(木)～1/25(月)	2021/2/12(金)
		II期	2021/2/8(月)～2/17(木)	2021/2/26(金)
		III期	2021/2/22(月)～3/8(月)	2021/3/13(土)

入学試験要項・願書（志願票）は
本学のホームページ
(<http://www.luther.ac.jp/admission/application/>) からダウンロードをしていただけます。
印刷につきましては各自でご準備いただきますようお願いいたします。

入試についてのお問合せ
TEL 0422-32-2949
FAX 0422-33-6405
admission@luther.ac.jp

サークル探訪

軽音サークル

ルーテル学院大学には文化系、運動系、音楽系さまざまなサークル、委員会等があります。その中から今回は「軽音サークル」について部長の廣島真祈人さん（子ども支援コース2年）にお話を伺いました。

◎1 サークルの人数や活動の曜日
今年度は35名ほど在籍しています。活動曜日は各バンドによって異なります。前年度では、週に2日ほど放課後にチャペルを借りてバンドごとに時間を割り振って練習していました。

◎2 初心者でも参加できますか。
もちろん参加できます。先輩もほとんどの方が大学から楽器を始めています。

◎3 軽音サークルではどのように練習をしていますか。
バンドごとに、自主的に練習をしたり、バンドでの合わせ練習などを行っています。今後は初心者向けの練習方法なども一緒に考えていけたらいいなと思っています。

◎4 廣島さんはどの楽器を担当していますか。
わたしはドラムを担当しています。中学2年生の頃からドラムを続けています。ドラムは簡単に音が出るのに、たくさん練習すると、見違えたようにカッコよく見える楽器です。バンドではボーカルと同じくらい目立ちます！

◎5 どこかで発表することはありますか。
前年度は年に数回、愛祭（学園祭）

や夏祭りなどのイベントでライブを行っていました。これからまたみんなで演奏ができるようになったら気軽に参加して欲しいと思っています。

◎6 やりがいを感じる時や難しいと感じる時を教えてください。
やりがいを感じる時は、ライブです。皆が楽しそうにライブに参加しているのを見るとすごく嬉しくなります。

◎7 今後の目標はありますか。
「みんなが楽しむこと」が大事なところなので、みんなが楽しめるようなライブやイベントを時間をかけて企画していきたいと思っています。

◎8 高校生の皆さんへメッセージをお願いします。
楽器経験の有無に関係なく、誰でも楽しめるサークルにしたいと思っています。ルーテル学院大学に入学して「やりがい」を感じたい人や、たくさん楽しいイベントに参加したい人はぜひお声かけ下さい。新型コロナウィルスの影響で、大変なスタートを送っていると思いますが、みなさんのこれからは楽しく、恵まれたものになりますように。

